

ACOLS ニュース No.223

ナドロップ(微量紫外可視分光光度計)更新・新規導入と共用開始のご案内

自然科学研究支援開発センター(霞)生命医科学部ではナドロップ(微量紫外可視分光光度計)について装置の更新・新規導入を行いましたのでお知らせいたします。既存のナドロップは頻回のエラーにより測定に支障が出ていたため、このたび新規に NanoDrop™One^C 超微量紫外可視分光光度計を更新導入しました。装置の概要とこれまでのナドロップとの違いを下記に示します。

特に、新規導入のナドロップは制御パソコン、プリンターが付属しておりませんのでご注意ください。

■新機種 NanoDropOne^C の概要

	新規導入 NanoDropOne ^C (Thermo Scientific)	
予約システムでの名称	(霞・生命)超微量分光光度計 NanoDrop *既存の装置の予約システムを引継ぎます。	
使用料	35 円/サンプル	
供用開始日時	2021年1月13日(水)9:00～ *既存の装置は、上記日時をもって供用を終了します。残っているデータについては、それまでに整理(消去)ください。データの紛失等のトラブルについては責任を負いかねます。	
測定方法	既存装置と変更ありません。 ■台座での1~2ulの核酸溶液の吸光度・吸光スペクトル測定 ■キューベットを用いた吸光度・吸光スペクトル測定 *光路センターは下から8.5mmです。	
データ出力	■本体タッチパネルを用いての測定 制御パソコン、プリンターは付属していません。 ■測定データは、ウイルスチェック済みの USB メモリーにより持ち帰りください。定期的にデータの整理を行います。 ■データを確認できるフリーソフト NanoDrop one を配布可能です。対応 OS は windows10 64-bit です。ご希望の方はお問い合わせください。	

装置の利用方法など詳細は以下、問合せ先までご連絡ください。

【問合せ先】

自然科学研究支援開発センター 機器共用・分析部門 (霞)機器共用・分析部
研究開発部門 生命医科学部 (霞総合研究棟 122 号室)
内線 : 6887/6170 (082-257-1510) e-mail: acols@hiroshima-u.ac.jp